

設備用鋼製基礎 ベルベース

コンクリート基礎の問題点を解決

工期末の救世主

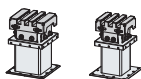
とにかく

工期短縮

ベルベース
(金属拡張アンカー)

設置

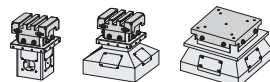
1日で
施工完了



ベルベース
(接着系アンカー)

設置

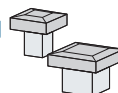
2日で
施工完了



コンクリート基礎

アンカー打設 > 配筋 > 型枠設置 > コンクリート打設 > コンクリート養生 > 型枠解体・撤出

2週間
程度
必要



※ベルベースとコンクリート基礎との工程表比較(例): 20個程度



ベルベースA2/内アンカー

水上用:H500~580
水下用:H550~630



ベルベースA2/外アンカー

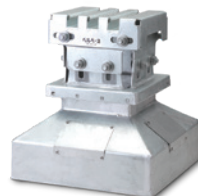
水上用:H500~580
水下用:H550~630



ベルベースC3

H400:400~480
H450:450~530
H500:500~580
H550:550~630

ベルベースC3は全て受注生産

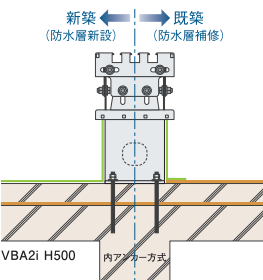


ベルベースF2

水上用:H500~580
水下用:H550~630

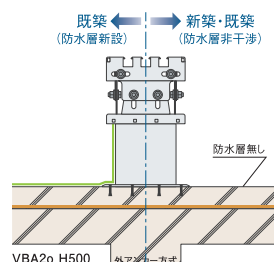
◎設置例

既存防水層 新設防水層



防水層:保護防水 + 露出防水

アンカーを保護コンクリートを通させて躯体に固着させるため、所定の強度が確実に得られる。



防水層:保護防水のみ、保護防水+露出防水
アンカーの、保護コンクリートへの固着強度を確認すること。アンカーが防水層を貫通しないため、漏水の不安が無い。

※設置物の重心が高く、重い場合、保護コンクリートを伴って転倒する恐れがあります。壁から壁をとる、支えを設ける、基礎の間隔を広げる等の対応して下さい。

乾式工法

乾式工法(ベルベース) × 湿式工法(コンクリート基礎) 精度の差は歴然

ベルベース(乾式工法)はコンクリート基礎(湿式工法)に対し、圧倒的に精度が優れます。

ベルベース(乾式工法)



工場生産品を設置



①下地へアンカーボルトを設置
②操作窓から手を入れ、ベルベースを固定



③mm単位で高さ・水平調整が可能

コンクリート基礎(湿式工法)



小規模工事ではコンクリートの揚重が大変(既存建物での施工例)



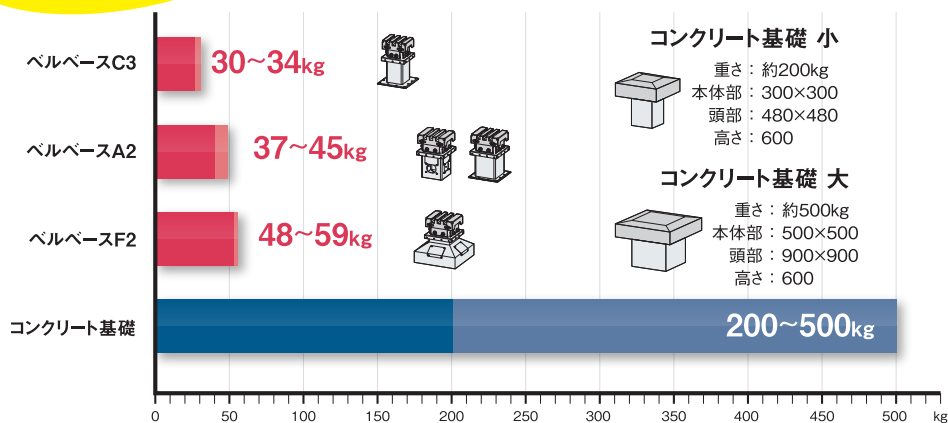
小規模工事の小型構造物では機械を用いた締め固めが面倒



手直しが発生しやすい。更に頭部へアンカーボルト穴の穿孔が必要

軽量化

$\frac{1}{10}$ の重さ (ベルベース/コンクリート基礎)



防水を熟知



- ・確実な雨仕舞
- ・次回の防水改修にも配慮

安心・安全

日本建築センター 認定 設備用鋼製基礎「ベルベース」

評定日 令和3年7月16日
 評定番号 BCI評定-LS0139-01
 申込者 株式会社ベルテック

日本建築センターの評定により、ベルベースは建築設備の一部として(建告第1388号に該当)構造安全性に関し、建築基準法令その他の技術基準に照らし妥当なものと評定されています。
この評定により、ベルベースが安心・安全な鋼製基礎であることが証明されています。

豊富な実績



冬季施工に 威力を発揮

コンクリート工事に制限がある、
積雪寒冷地での冬季施工に
威力を発揮します。



株式会社ベルテック [建材事業部]

- 本社
〒557-0054 大阪市西成区千本中2-12-20
TEL. 06-6651-9200 FAX. 06-6651-9202
- 東京営業所
〒111-0042 東京都台東区寿3-19-5 JSビル6階
TEL. 03-5830-0231 FAX. 03-5830-0232
- 名古屋営業所
〒465-0051 名古屋市名東区社が丘2-1118
TEL. 052-709-5505 FAX. 052-709-5506
- 福岡営業所
〒814-0031 福岡県福岡市早良区南庄1-2-21-102号
TEL. 092-400-0668 FAX. 092-400-0669



→QRコードで
ウェブサイトへアクセス

www.e-vertec.jp/

鋼製基礎「ベルベース」の製品紹介動画を
YouTubeにて一般公開いたしました

